

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和7年度分）

施設	名 称	栃木市大平勤労青少年ホーム
	所 在 地	栃木市大平町蔵井 2 0 0 2 - 1
	施設内容	青少年ホーム
指定管理者	名 称	環境整備・いすゞビルメンテナンス共同企業体
	所 在 地	栃木市大平町伯仲 2 6 9 1
	主な業務内容	総合ビルメンテナンス（清掃・設備管理・警備保安全管理に関する業務）

（１）平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	アンケート数			240件	247件(2回)		
	利用者意見反映			3件	2件		
	利用者案内掲示数			3か所	3か所		
	利用者利用満足度			80%	90.0%		
	新規講座の開設			1講座	0講座		
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20
指定管理者コメント	・事業計画書を明文化し職員に配布、運営の基本方針に基づき、業務を行いました。 ・平等性確保の為、募集2週間後に受付を開始しました。また、関連団体や地域自治会等に施設や物品の無料貸し出しを行いました。 ・講座やイベント終了後アンケートを実施し、利用者の意見を把握し講座やイベント、施設改善に役立てました。 ・ホームの玄関、1階及び2階のフリースペースに利用案内の掲示をしたり、目安箱を設置し要望や苦情を迅速に対応し、所管課への報告や相談をして解決しています。 ・利用者意見反映は、①2F和室エアコン修繕②軽運動場天井灯5本交換を致しました。 ・新規講座は、現在定期的な空き時間帯が無いので今回は見送りました。						
施設所管課コメント	・アンケート実施数は計画を上回っている。また、その意見を受けて、施設運営の改善を2件実施できている。 ・利用者が満足できるサービスの提供に努めており、実際に利用者満足率が90.0%と高い数値となっている。 ・新規講座については、開催できる空き時間がなく、特に要望や苦情もなかったことからやむを得ない。						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	登録利用者数			7,000人	8,017人	
	広報誌発行部数			2,000部	2,000部	
	婚活事業数			3回	0回	
	イベント実施数			4回	5回	
	栃木市広報誌への掲載			4回	4回	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	・事業計画に基づき、ホーム年間カレンダー通りに開館しました。 ・利用者数は、講座・クラブ・貸館等も増し計画値を1,017人上回る結果が出ました。 ・広報とちぎへの記載の他、公共施設に講座案内チラシを配布、FMくららに出演しての利用案内、HPへの記載、フェイスブック・ライン等を活用しての広報活動に努めた。（HP・フェイスブック更新28回、HP閲覧回数 1,480回） ・婚活イベントは、男女が健全に知り合うきっかけの場を提供として3回（6月・10月・2月）予定していましたが、2月はバスツアーのイベントと重なった為、2回の開催としました。なお、残念ながら応募者が集まらず開催には至りませんでした。 ・イベントは、①利用者会役員会&交流会②大平ホームクリーンアップ活動③利用者発表会④利用者交流会（梨狩り）⑤バスツアーを行いました。 ・就労支援を第1・第3土曜日と第2・第4月曜日に若者の自立支援に向けて就労相談を実施しました。（29回、延べ49人）					
施設所管課コメント	・広報誌の発行は、計画どおりの部数を発行できている。 ・広報とちぎへの掲載等は計画値どおり実施できている。 ・イベントの開催数は計画値を上回っており、特に利用者数は貸館等の効果もあり大幅に計画値を上回っている。 ・婚活事業については、0回と計画値を下回っており、応募を増やす施策が必要である。HPやSNS等での情報発信の強化など、参加希望が増えるよう努めてほしい。 ・就労支援相談業務を29回開催し、地域社会へ貢献している。					

(3) 施設経費の削減の取組み						
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか				
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか				
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか				
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	経費削減率			3 %	-0.98%	
	見積り合せの実施回数			2 件	2 件	
	施設修繕数			2 件	4 件	
	備品等更新数			1 件	0 件	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	15	IV	0.4	6	III	0.6
指定管理者コメント	・所管課との連絡を密にして、適正な収支手続を実施しています。 ・経費節減率は電話代の基本料が大幅に上がったため、マイナスの結果となりました。また、契約していた電力会社より大幅な電気代値上げの打診があったことから電気代抑制のため、電力会社を変更しました。 ・書籍やパンフレット等を提供し、情報交換の場として施設開放等、サービス向上に努めました。 ・外部委託せずに内製化をして経費削減をしました。①館内清掃②構内草刈り及び除草剤散布③松の葉や桜枝の伐採廃却処理 ・建物、設備、備品等の管理についても日々管理を行いました。 ・施設修繕は、①粉末消火器の交換②樋の修繕工事③和室エアコン点検調整④軽運動場天井灯切れ交換を行い、①②について見積合せを実施しました。					
施設所管課コメント	・内製化することで経費の削減と施設の適切な維持管理の両立を図っている。 ・電話基本料金の大幅値上げのため、仕方ない部分もあるが、サービスの低下にならない範囲で、経費の削減に努める対策を講じてほしい。 ・計画値を上回る施設修繕を行っており、適切な施設管理に努めている。また、見積もり合わせも都度実施しながら経費節減に努めている。 ・サービスの低下にならない範囲で備品更新を行わない判断をし、経費削減に努めている。					

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか				
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか				
	③	職員の福利厚生は充実しているか				
	④	団体の財政状況等は健全であるか　＜別紙参照＞				
	⑤	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数			職員 2 名	職員 2 名	
	研修会開催数			4 回	5 回	
	研修会参加者数			(各研修会に 1 人)	8 人 (各研修会に 1 人)	
	勤務時間数 (1 人当たり)			4 0 時間／週	4 0 時間／週	
	経常収支比率			100%	105. 1%	
評価	配点	第 1 次評価 (指定管理者評価)			第 2 次評価 (施設所管課評価)	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1. 0	20	I	1. 0
指定管理者コメント	・ 運営管理に必要な人員配置と、利用者のパイプ役となる当施設経験者を配置して対応しています。 ・ 各種講習会に積極的に参加しました。定期的にOJT教育を受けて館長、職員の資質向上に努めました。また、社外内を含む研修会にも参加しました。 クビアカツヤカミキリ駆除研修1人、AED講習会1人、コンプライアンス研修2人、飲酒運転撲滅研修2人、個人情報的重要性研修2人 ・ 健康保険、厚生年金保険料及び各種税金についても、滞納はありません。 ・ 財政状況は、経常収支比率 105. 19%で問題ありません。					
施設所管課コメント	・ 人員配置に関しては、元大平勤労青少年ホーム利用者を配置することで、利用者目線に立ち運営ができる体制を取っている。 ・ 研修会開催数は計画より多くなっており、特にクビアカツヤカミキリ被害木対策実演講習会等の研修会に自主的に参加して、施設管理を安定して行うための技能向上に取り組んでいる。 ・ 運営団体の財政状況も良好であり、施設の管理運営に問題は無いといえる。					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	日常点検の実施（日常点検表）			日常点検表により292回	日常点検表により292回実施	
	事故発生数			0件	0件	
	消防訓練実施回数			消防訓練を年2回実施	年2回実施	
	個人情報の適正管理			個人情報保護勉強会を年2回実施	年2回実施	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	II	0.8
指定管理者コメント	・日常点検の他、法定点検の消防用設備点検、防火対象物点検、市有建築物定期点検等を行っており現状が安全であることをチェックしました。 ・事故、災害、緊急時の対応・対策を整え、緊急時の連絡網について夜間等いつでも関係部署に連絡可能にしました。 ・事故の発生は、ありませんでした。 ・消防訓練は、9月と2月に総合訓練として2回、実施しました。 ・個人情報は、弊社の個人情報保護方針に基づき適切に管理、対応しています。					
施設所管課コメント	・チェック表に基づき日常点検を行い、異常等を素早く発見できる体制を整えている。 ・緊急時連絡網を整備し、緊急時の体制を整えている。 ・消防用設備点検や消防訓練は計画通り実施している。 ・個人情報保護に関する勉強会を開催し職員が参加することで、個人情報の適正管理を行い、個人情報等の漏洩0件を達成した。					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	20	20	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	16	16	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	6	9	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	20	20	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	20	16	
評価点合計	100	82	81	
総合評価		A (優)	A (優)	

第3次評価（選定委員会評価）	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み (共同事業体用)

《 別 紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

共同事業体構成団体名称	環境整備株式会社
-------------	----------

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和8年2月期	令和7年2月期	令和6年2月期
資産総額	9,480,275,969	8,311,216,000	8,252,940,702
売上高	11,895,369,394	10,487,702,000	11,282,805,288
経常利益	1,063,596,090	521,624,000	782,376,626
当期利益	769,148,569	372,949,000	517,468,639
経常収支比率	117.09%	105.22%	107.45%

決算年次	令和8年2月期	令和7年2月期	令和6年2月期
経常費用	10,199,125,227	9,993,706,000	10,507,006,860
経常収益	11,942,104,065	10,515,332,000	11,289,383,486
経常収支比率	117.09%	105.22%	107.45%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

・売上げも安定しており、経常収支比率についても、令和6年度107.4%、令和7年度105.2%、令和8年度117.09%と安定しており、健全な財政状況となっております。

共同事業体構成団体名称	いすゞビルメンテナンス株式会社
-------------	-----------------

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和7年3月期	令和6年3月期	令和5年3月期
資産総額	2,064,527,000	1,965,822,000	2,189,698,000
売上高	6,225,256,000	6,120,197,000	6,132,509,000
経常利益	318,512,000	284,369,000	417,600,000
当期利益	211,073,000	187,635,000	267,258,000
経常収支比率	105.19%	104.86%	107.28%

決算年次	令和7年3月期	令和6年3月期	令和5年3月期
経常費用	5,921,137,000	5,850,101,000	5,738,079,000
経常収益	6,228,223,000	6,134,470,000	6,155,680,000
経常収支比率	105.19%	104.86%	107.28%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

・売上げも年を経るごとに伸張しており、経常収支比率についても令和5年度107.28%、令和6年度104.86%、令和7年度105.19%と安定しており、健全な財政状況となっております。